

はれときどき 図工だより

令和5年 11月 27日

新宿区立戸塚第二小学校

校長 片山 直子

図工専科 山内 泰子



もうすぐてらんかい

～さあ行こう、105年目・60年目の今そしてこれから～

12月7・8・9日に迫った展覧会に向けて、只今絶賛準備中。どの学年も作品の仕上げや名札付け等頑張っています。担任の先生方も、子どもの作品がより輝くよう、台紙貼りや名札のチェックなどを手分けして行っています。共同制作に取り組んでいる学年やクラスも、友達と協力しながら活動しています。

小学校は105周年、幼稚園は60周年という節目の年にもあたり、それをお祝いした作品も展示する予定です。

さて、どのような会場になるか、どうぞお楽しみに。(この文章を書いている時点ではまだ分からないのですが)

机に積まれたシールド↓と、お祝いプレート↓



3年生 氷の館

ピカピカのミラーシートが配られた瞬間、みんな自分や友達の顔を映して大喜び。そこに、セロハンテープをちぎって貼ると、透明な氷を載せたようです。

氷のホテルや氷のお城、オーロラなどの画像を見て気持ちが盛り合ったところで、自分だけの氷の館を描きました。染料で色を付けライトアップされた感じになりました。

展覧会の裏テーマはSDGs。全校で取り組んだ「105周年お祝いシールド」は、コロナ禍、子どもたちが机に置いて使っていたシールドを活用しました。大きな板を20センチ角に切断し、お湯で消毒洗浄。危険がないよう角を丸く落としたシートにして、一人一人お祝いのメッセージやイラストをペンで描きました。周年式典の際は、一階廊下に吊るしましたが、展覧会では体育館に展示します。シールドは大きさを変えて2年生の「てぶくろ」にも使われています。

他にも、今回展示する作品の多くに、「給食室からいただいた大量の段ボール」「タブレット配布のときに出た緩衝材」「コピー紙を包んでいた包装紙」「下ろした不要になった仕切り版」「工場での製作時に切り落とされたマスキングテープのヘタの部分」「大量にたまったチラシ・リーフレット」等、再利用再活用しています。